

2022年2月18日

長電バス株式会社
西鉄エム・テック株式会社
株式会社 YE DIGITAL



長電バス株式会社



【長野県初】スマートバス停、長電バスで2基採用

～国土交通省のデジタル化実証調査を活用し、更なるお客様利便性向上へ～

長電バス株式会社（本社：長野県長野市 代表取締役：湯本卓邦、以下、長電バス）は、株式会社 YE DIGITAL（本社：北九州市小倉北区 代表取締役社長：遠藤直人、以下、YE DIGITAL）と西鉄エム・テック株式会社（本社：福岡市中央区 代表取締役社長：堀江広重、以下、西鉄エム・テック）が共同開発したスマートバス停を、国土交通省の「旅客自動車運送事業における ICT 活用によるデジタル化の実証調査（以下、デジタル化実証調査）」を活用して2基導入し、2022年2月18日より運用開始したことをお知らせします。この度の導入により、スマートバス停が初めて長野県で採用されたこととなります。

■長電バス導入の背景

長電バスでは、バス停環境の整備に取り組んでおり、バスの運行時刻に関して祝日やお盆・年末年始など通常の曜日別ダイヤと異なる場合があり、分かりやすい時刻表表示のあり方を検討していました。この度、ご利用者様が多く、また行先・便数の多いバス停において利便性の高いバス停環境を提供するため、国土交通省のデジタル化実証調査を活用し、スマートバス停を導入しました。

■国土交通省「デジタル化実証調査」とは

旅客自動車運送事業においては、運送収入の減少や人材不足、さらに新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一層厳しい経営環境となっています。その課題解決に向けて、国土交通省が、労働生産性や収益性の向上に寄与する「デジタル化」や「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を推進するため、旅客自動車運送事業者にも、実際にデジタル機器やシステム等を導入・運用頂き、その効果や課題の検証を行う実証調査です。実証調査に使用するデジタル機器等には「調査協力費」が支給され、調査終了後も引き続き当該機器等を利用することができます。

スマートバス停は、バス事業者の労働生産性、収益性の向上に寄与するデジタル機器として、本実証調査の対象機器に認定されました。

■スマートバス停とは

デジタルサイネージにバスの運行時刻表や運行系統図を表示することに加えて、その他の告知文や広告などを遠隔かつリアルタイムに更新、表示できるバス停です。

< 分かりやすい時刻表表示のポイント >

- ・当該曜日の時刻表を大きく表示が可能。時刻表の見間違い防止に繋がります。
- ・当日の現時間帯の時刻表を拡大表示が可能。高齢者にも優しい仕組みです。
- ・時刻表の外国語表示が可能。インバウンドへの対応にも繋がります。

長電バスは、分かりやすいバス情報の提供によりお客様の利便性向上に一層努めて参ります。YE DIGITAL 及び西鉄エム・テックは、「より活気あふれる街づくり」に向け、スマートバス停の導入事例を積み重ねることで、お客様の利便性向上と公共交通ネットワークの発展に寄与して参ります。

< 導入概要 >

■設置場所

- ・「宇木」停留所：長野市三輪9丁目
- ・「権堂」停留所：長野市鶴賀権堂町

■設置の様子

長電バス「宇木」停留所と「権堂」停留所は、近辺にショッピングモールなどの商業施設もあり、お子様からご高齢者までご利用になられるお客様の多いバス停です。スマートバス停を設置することで、より見やすく分かりやすい情報提供に寄与できると考えています。

スマートバス停（郊外モデル：Type-C）のポイント

- ・太陽光発電により電源供給不要。バッテリーを搭載し、長期間日照が当てられなくても稼働可能。
- ・シャープ製 31.5 インチの反射型 LCD 採用、省電力でありながら、日差しの中でも高い視認性を実現。
- ・反射型 LCD にバックライトを組み合わせることで、夜間帯の視認性を確保。

※本製品はシャープマーケティングジャパン株式会社との共同開発です。

< 昼間の様子 >



< 夜間の様子 >



■スマートバス停表示レイアウトの説明



デジタル時刻表

当日の現時間帯の時刻表を拡大表示、高齢者を含む、幅広い利用者に見やすい時刻表を提供します。

お知らせ

QRコード等を表示し、スマホと連携、リアルタイムの情報を利用者へお届けします。

路線図・広告

行先系統図と長電バスのご案内を表示します。

※ 記載されている会社名、商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。

最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

本発表に関するお問合せ

<スマートバス停の運用について>

長電バス株式会社 乗合バス課

電話：(026)295-8008

<スマートバス停の提供について>

西鉄エム・テック株式会社 開発部

電話：(092)641-1671

<スマートバス停・クラウドサービスの開発・提供について>

株式会社 YE DIGITAL マーケティング本部 広報部

電話：(093)522-6563 メール：press@ye-digital.com